

小児手術・集中治療部

1. スタッフ（平成23年4月1日現在）
 部長（教授）竹内 護
 小児集中治療部長（准教授）多賀 直行
 医員（学内准教授）門崎 衛
 （講師）片岡 功一
 病院助教 大塚 洋司
 永野 達也
 中村 文人
 シニアレジデント 2名

2. 小児手術・集中治療部の特徴

小児手術・集中治療部は、2006年9月自治医科大学とちぎ子ども医療センターの開院とともに開設され、手術部門と小児集中治療部門の両面を持つ中央診療部門である。

手術部門は、清浄度クラス1,000の手術室とクラス10,000の手術室各1室の計2室で構成され、現在、小児・先天性心臓血管外科、小児外科及び小児泌尿器科の手術が行われている。

小児集中治療部門は、とちぎ子ども医療センター内外の重症患者を収容し、関連診療科と連携して集中治療およびその看護を行い、回復を図ることを目的としている。小児集中治療室（PICU）は、感染症対応可能な個室ベッド2床を含む8床のユニットとして開設され、現在6床で運用されている。本PICUの特色として、先天性心疾患の外科的治療を周術期管理の面から全面的に支援していることである。麻酔・集中治療医と小児・先天性心臓血管外科医、小児循環器医、成人先天性心疾患担当循環器内科医が密接に連携して、新生児から成人症例の一部まで幅広い年齢層の先天性心疾患患者の診療、周術期管理にあたっている。

また、先天性心疾患以外の外科的疾患患者の周術期管理や、内科的疾患を持つ重症患者の集中治療も、自治医科大学附属病院集中治療部および関連各専門科と密接に連携を取り、限られた病床数の中で効率よく安全に診療を提供できるように鋭意努力している。

認定施設

日本集中治療医学会専門医研修施設

専門医等

（社）日本麻酔科学会指導医 竹内 護
 多賀 直行
 門崎 衛
 （社）日本麻酔科学会専門医 大塚 洋司

（社）日本麻酔科学会認定医 永野 達也

厚生労働省麻酔科標榜医 竹内 護
 多賀 直行
 門崎 衛
 大塚 洋司
 永野 達也

日本集中治療医学会専門医 竹内 護

多賀 直行

日本心臓血管麻酔学会専門医 竹内 護

多賀 直行

門崎 衛

日本救急医学会専門医 永野 達也

日本小児科学会専門医 片岡 功一

中村 文人

日本小児循環器学会指導医 片岡 功一

日本周術期経食道心エコー認定医

多賀 直行

大塚 洋司

Society of Critical Care Medicine, Active member

多賀 直行

International Anesthesia Research Society, Active member

多賀 直行

American Society of Anesthesiologists, Active member

竹内 護

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 手術数（2010/1/1-12/31）

小児・先天性心臓血管外科 102例

小児外科 23例

小児泌尿器科 21例

（小児外科・小児泌尿器科手術は12/6より開始）

2) PICU入室患者数（2010/1/1-12/31）

小児科 74例

小児・先天性心臓血管外科 72例

小児外科 28例

小児脳神経外科 15例

移植外科 10例

形成外科 8例

小児耳鼻咽喉科 7例

小児泌尿器科 3例

合計 217例

（死亡症例 8例）

病床利用率	84.3%
病床稼働率	94.8%
平均在院日数	8.0日

(4/1より6床での運用を開始したため、病床利用率などは4月以降の数値)

4. 事業計画・来年の目標等

手術部門では、2010年12月から手術室2室体制での運用が開始され、順調に手術数を伸ばしている。しかし麻酔科医師数・看護師数の不足や、緊急手術および時間外手術への対応などの課題もある。自治医科大学附属病院中央手術部との連携を密にし、今後もより安全で効率の良い運用ができるように最大限努力していきたい。

PICU部門では、2010年4月から6床運用が開始され、これまで4床では対応しきれなかった症例にも対応できるようになり、より多くの内科的疾患の重症患者に対しても集中治療管理が行えるようになった。今後の課題としては、これまで自治医科大学附属病院集中治療部や透析室に依存していた血液浄化療法の導入など、より高度な医療を安全に提供できるよう、鋭意努力していきたい。